

【参考資料】

**レトロな制服でビールをサーブします！
～昭和初期の名物ビヤホールの人気制服を参考に～**

2013 年 4 月 8 日（月）、恵比寿ガーデンプレイス グラススクエア内に新たにオープンする「銀座ライオン」は、ビールの名前がついた街「恵比寿」にふさわしく、ビール好きから長く愛され続けている日本のビヤホールの代名詞とも言える「ビヤホールライオン 銀座七丁目店」をモチーフにしています。

伝統的な「ビヤホール文化」を今後も伝承していくことを目的に、店内の装飾もさることながら、スタッフのユニフォームも、昭和初期にビヤホールで使用していた愛らしく親しみのあるデザインを、現代版にアレンジし復活させ、昭和ノスタルジーを感じさせる雰囲気と非日常感を演出します。

銀座ライオン恵比寿ガーデンプレイス グラススクエア店のユニフォーム



▲新しい制服



▲ビヤホールライオン 銀座七丁目店 昭和 20 年頃
ワンピースに白いエプロン&カチューシャが特徴

【遡ってみると・・・】

ビヤホールライオン銀座七丁目店の制服は、創業当時から「ウェイトレスはワンピースに白いサロンエプロン、頭に白のサロンキャップ、ボーイは白の詰襟姿」でした。

まだ和服も多かったころだけに、完全な洋装は「ハイカラ」であると大変な人気だったようです。ウェイトレスの制服は、比較的短期間にいろいろと変わり、中には日本で最初にオートクチュールを開設した、デザイナー・細野久氏によるものあり、「制服に憧れて入社した」という女性も少なくなかったそうです。

そもそも「ウェイトレス」が日本に誕生したのは、明治44年3月に開店した「カフェー・プランタン」から始まり、同年8月に当社の歴史にもある「カフェー・ライオン」でも30名のウェイトレスを配置し、世に広まったと言われています。

当時、上品なレストランであり、社交場でもあった「カフェー・ライオン」はその後、昭和6年から「ビヤホール」として変化を遂げ、現在の「ビヤホールライオン銀座五丁目店」に至ります。



▲エプロン姿のカフェー・ライオンのウェイトレス

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

報道関係の方

経営戦略部 (西村 礼佳) TEL: 03-6222-5183 / E-mail: kouhou@sapporo-lion.co.jp